

- ☆2019春季生活闘争開始宣言
- ☆「クランノソコアゲ応援団!RENGOキャンペーン」街宣行動/パワーアップセミナー開催
- ☆ミニマム賃金
- ☆第1回地協議長・事務局長会議/全国一斉労働相談ダイヤル
- ☆公職選挙法学習会/政策協定調印式
- ☆雪かたしボランティア/3.8国際女性デーとは
- ☆年間研修計画/3月の行動日程
- ☆あけぼのビル

今こそブレイクスルー！ すべての労働者の処遇改善と働き方の見直し！

2019春季生活闘争スタート！

2019春季生活闘争は、2月13日(水)より先行中核組合が要求書提出をおこない、本格的な労使交渉がスタートした。連合埼玉は、先立つ2月5日(火)、大宮駅東口にて「2019春季生活闘争・闘争開始宣言集会」を開催し、組合員のみならず広く県民の皆さんに、今春闘の重要性や春闘に臨む決意を訴えた。

集会の冒頭、近藤会長より、「2019春季生活闘争は、『賃上げ』の流れの拡大と『すべての労働者の立場にたった働き方』の見直しを同時に推し進め、『人的投資の促進』『ディーセント・ワークの実現』『包摂的な社会の構築』『経済の自律的成長』をめざす闘いである。2014春季生活闘争以降、底上げ春闘として一定の成果を上げてきているが、いまだに社会の隅々まで『賃上げ』の流れが届いているとは言えず、『格差是正』についても道半ばであると認めざるを得ない。『賃上げ』の流れを拡げ格差是正の実効性を高めていくためには、これまで以上に『賃金水準』の追求にこだわる必要がある。過去5年間で築き上げた『賃上げ』の流れをさらに大きなうねりとし、すべての労働者の賃金を『働きの価値に見合った水準』へと引き上げる闘争を展開しなければならない。また『働き方改革関連法』が2019年4月1日以降順次施行されることも踏まえ、『すべての労働者の立場にたった働き方』の実現に向けて、職場を熟知する労使がしっかり議論する必要がある」との挨拶があった。

その後、山本副会長・牧田副会長・平尾副会長・谷内副会長・持田副会長・浅見副会長より、各構成組織の春闘要求内容に関する説明と決意表明がおこなわれ、平尾副会長(労働政策委員長)による闘争開始宣言の確認の後、近藤会長の発声で「ガンバロー!三唱」をおこない集会を終了した。

連合埼玉は、「底上げ・底支え」「格差是正」と「すべての労働者の立場に立った働き方」の実現に向け、構成組織・地域協議会、各労働組合から職場に至るまで総がかりで行動し、最後まで粘り強く2019春季生活闘争を闘い抜く。



山本副会長



牧田副会長



平尾副会長



近藤会長



谷内副会長



持田副会長



浅見副会長



ガンバロー!

「格差是正」の実効性を高め、経済の持続的成長実現を!

～2019春季生活闘争パワーアップセミナー～

2月3日(日)埼玉会館にて30名が参加、2月17日(日)ときわ会館にて12名が参加し、2019春季生活闘争パワーアップセミナーを開催した。このセミナーは、実際に労使交渉にのぞむ中小・地場組合の役員を対象とし、春闘を取り巻く情勢や連合の春闘方針、また、財務諸表の見方やベースアップの考え方などを再確認し、実りある交渉につなげることを目的としている。

冒頭、労働政策委員長の平尾副会長より、「これまで5年間賃上げをおこなってきている中で、中小の賃上げ率が大手のそれを上回るなど、『底上げ・底支え』に関して一定の成果が上がってきた。しかし、賃金水準(金額)でみれば大手と中小の格差は拡大し続けているという大きな課題がある。これまで以上に『賃金水準』にこだわることで、格差是正の流れを社会全体に拡げ、“日本経済の自律的成長”と“社会の持続性”を実現していかなければならない。また、本年4月より『働き方改革関連法』が施行されるが、法対応だけでなく『すべての労働者の立場にたった働き方』を実現するため、しっかりとした労使議論をおこなう必要がある」と挨拶があった。

その後、午前の講義では2019春季生活闘争方針や経営側のスタンスについて解説をおこない、午後の講義では「企業体質の把握や将来性予測に必要な財務諸表の見方や収益性分析」、「増加する社会保障や労働力市場の国際化のなかでのベースアップ獲得に向けた考え方・論点」、「労使交渉で重要視すべき視点」などを、j.union(株)の大川守氏より丁寧に解説していただき、セミナーを終了した。



挨拶する平尾副会長



講師:大川守氏



セミナーの様子

社会的うねりを創るため、共に行動しよう

～「クラシノソコアゲ応援団!RENGOキャンペーン」～

連合埼玉および県内12の地域協議会では、あらゆる機会を捉え、2019春季生活闘争の重要性・必要性を訴え「底上げ・底支え」「格差是正」をすべての労働者へ波及させるため、「クラシノソコアゲ応援団!RENGOキャンペーン」と連動した社会運動としての取り組みを以下のとおり推進していく。(2月の1次行動は実施済)

世論喚起街宣行動(連合埼玉)

- ◇1次行動 春闘開始宣言
2月 5日(火)18:00～ 大宮駅(東口)
- ◇2次行動 ミニマム賃金/交渉状況アピール
3月 5日(火)18:00～ 大宮駅(東口)
- ◇4次行動 中小・地場組合解決促進アピール
3月20日(水)18:00～ 川越駅(東口)
3月22日(金)18:00～ 南越谷駅(南口)
3月25日(月)18:00～ 熊谷駅(北口)
3月26日(火)18:00～ 川口駅(東口)
4月 9日(火)18:00～ 大宮駅(東口)

世論喚起街宣行動(地域協議会)

- ◇1次行動 一斉労働相談・春闘開始アピール
2月6日(水)～2月22日(金) 県内各駅頭
- ◇2次行動 ミニマム賃金アピール
3月6日(水)～3月22日(金) 県内各駅頭



中小企業で働く人の賃金格差是正をめざす

【2019春季生活闘争・地域ミニマム運動】

中小企業労働者の賃金格差を是正するため連合埼玉では、1996年度より「〇〇円以下の賃金をなくす」ことを目的に「地域ミニマム運動」を推進している。地域ミニマム運動では、個人の位置付けの確認や各労働組合の指針となるよう、20歳～45歳(5歳ごと)に基準を示し、また、世論喚起も含め、誰からも水準が理解される金額となるよう、35歳をポイントとしてミニマム賃金を設定している。

2018年度は、県内に働く4,282名の個別賃金調査を実施し、以下の前提条件や個別賃金調査データにもとづき、ミニマム賃金を設定した。

連合埼玉ミニマム賃金(首都圏ミニマム)35歳 228,000円

【前提条件】

- ①賃金実態調査結果の製造業・男女の「第1十分位回帰値」を基本目安とし設定する。
- ②埼玉県の生活保護水準(1級地-2…所沢市、戸田市)を下回らないことを考慮する。

【2018年個別賃金および2019ミニマム賃金設定額】

年齢	平均賃金	第9十分位	中位	第1十分位	2018ミニマム	第1十分位差	2019ミニマム
20歳	174,851	184,485	173,425	167,134	168,000	866	168,000
25歳	212,117	234,080	214,650	182,216	189,000	6,784	189,000
30歳	239,425	285,223	236,375	206,326	210,000	3,674	210,000
35歳	270,657	315,065	267,850	223,832	228,000	4,168	228,000
40歳	291,540	358,064	283,550	230,849	240,000	9,151	240,000
45歳	310,824	385,032	310,018	245,365	261,500	16,135	261,500
1歳間差	5,439	8,022	5,464	3,129	3,740	611	3,740

昨年「20歳」と「35歳」のポイントを引き上げたことも考慮し、すべての年齢ポイントで昨年と同額の設定とする。

【今後の取り組み】

春闘3次行動として連合埼玉・地域協議会にて、経営団体、商工会議所および商工会などへミニマム賃金の要請をおこなう

1. 経営団体への要請

日 時: 3月18日(月)～29日(金)
 要請先: 埼玉県経営者協会
 埼玉県中小企業団体中央会
 埼玉県商工会議所連合会
 埼玉県商工会連合会
 埼玉中小企業家同友会
 要請者: 連合埼玉

2. 地域商工会議所および商工会への要請

日 時: 3月18日(月)～29日(金)
 要請先: 各地域商工会議所
 各地域商工会
 要請者: 地域協議会

2019年度活動に対し意識合わせをおこなう

～ 2019年度第1回地協議長・事務局長会議を開催 ～

1月21日(月)埼玉会館において12地域協議会より19名が参加し、2019年度「第1回地協議長・事務局長会議」を開催した。

冒頭、近藤会長より「各地協で開催の地協委員会で一部役員が交代すると聞いている。これまでのご尽力に敬意を表するとともに、心より感謝を申し上げる。さて、去年は大きな被害を出した自然災害が多く発生した。組合として防災・減災という観点から、会社に対して意見提言をしていくことが大事である。日頃から意識を高く持ち取り組んでいく必要がある。また、本年は第25回参議院選挙と第19回統一地方選挙が予定されている。連合埼玉としては、構成組織や地協と連携をはかりつつ、交通整理をしていく」と挨拶された。議事では、年間の主要活動をはじめ地協交付金、2019春闘の具体的行動、政策制度地協統一要請、参議院選挙および統一地方選挙、連合ビジョン・中間総括に対する組織討議等の各種議事について確認をした。



挨拶をする近藤会長



会議の様子

【2019年度第1回地協議長・事務局長会議議事】

1. 2019年度「年間主要活動」計画
2. 2019年度「地協活動交付金」について
3. 2019春季生活闘争方針と具体的行動について
4. 2018年度政策制度「地協統一要請」の要請書および回答書送付のお願い
5. 第25回参議院選挙について
6. 第19回統一地方選挙について
7. 「連合ビジョン」「連合運動強化特別委員会『中間報告』」に関する組織討議の進め方
8. その他

働き過ぎにレッドカード!! 2019年4月から時間外労働に上限規制が導入されます

～連合全国一斉集中労働相談ホットライン～

連合は、2019年4月より改正労働基準法が施行されることから、長時間労働を是正し、組合の有無に関わらず、すべての職場でより良い働き方の実現を目指し、36協定の適正な締結など、職場における取り組みを徹底するとともに、地域や社会における機運の醸成をつうじて、働く人たちのセーフティネットづくりを目的に連合全国一斉集中労働相談ホットラインを2月6日(水)～8日(金)10:00～19:00で実施した。連合埼玉では各日、通常労働相談対応をしているユニオンアドバイザー3名体制にて対応した。3日間での相談は26件(昨年15件)となった。

連合埼玉は今回の相談内容を連合本部と共有・検証し、今後の運動へ反映させていく。また、「Action! 36」と連動させ街宣等をつうじて、労働者に対する世論喚起をおこなっていく。

【相談内容の一例】

- ・パートで働いているが、有給休暇は無いと言われた
- ・以前働いていた会社で、勤務時間終了後に、全員がタイムカードを打った後でミーティングをしていた
- ・労働組合があるが、組合役員に36協定を見せてくれとたずねたが秘密事項だと断られた
- ・10年以上パートで働いている会社で有給休暇が2年前からついたが、月1日までしか取れないと言われた
- ・息子が長時間労働で土日も休んでない

選挙戦間近！法令遵守の徹底を！

公職選挙法学習会

2月1日(金)浦和ワシントンホテルで、構成組織、地域協議会の役職員・政治担当者および連合埼玉推薦候補予定者とその関係者105名が参加し、今年の統一地方選挙、参議院選挙にむけた公職選挙法の学習会を開催した。

富士社会教育センターの専務理事の中村勝雄氏を講師にまねき、選挙運動とコンプライアンスの基本、労働組合としての政治活動・選挙活動などポイントを押さえながらも、楽しい話術に引き込まれながらの学習会となった。

連合埼玉としても第19回統一地方選挙および第25回参議院選挙で推薦候補者全員の勝利にむけ、コンプライアンスを遵守した活動をおこなっていく。



会場の様子



冒頭挨拶をする近藤会長



講師：中村勝雄氏

働く者・生活者の視点での政策実現にむけて

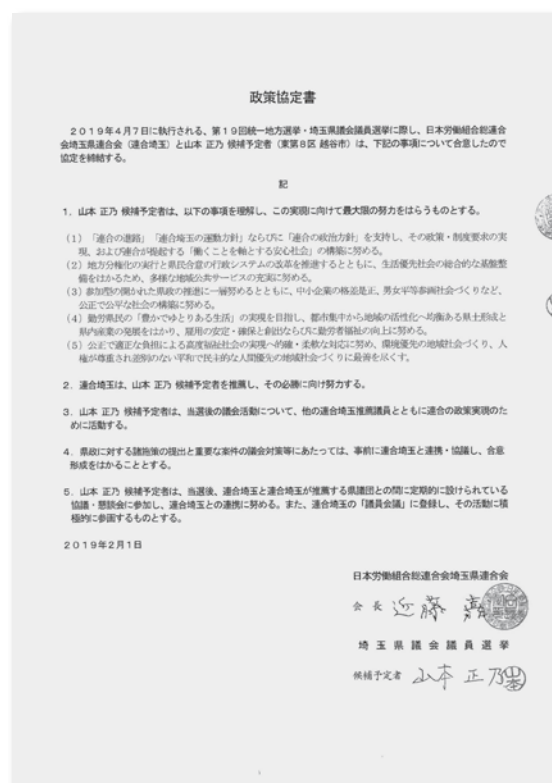
政策協定書調印式

2月1日(金)、第19回統一地方選挙における県議選候補予定者16名(1月8日の執行委員会までに確認した候補予定者)との「政策協定」調印式をあげほのビル会議室でおこなった。

近藤会長より、「連合埼玉として推薦したからには皆さんを全力で支援していく」との激励あいさつのあと、推薦候補者を代表し、山本正乃県議(連合埼玉議員会議議長)より「連合埼玉の推薦議員として、労働者の立場・生活者の立場で働くことを軸とする安心社会の構築をめざしてがんばっていく」との決意の挨拶があり、調印式を終えた。



調印式の様子



奥会津・金山町にて「雪かたし」を実施

～災害ボランティア救援隊～

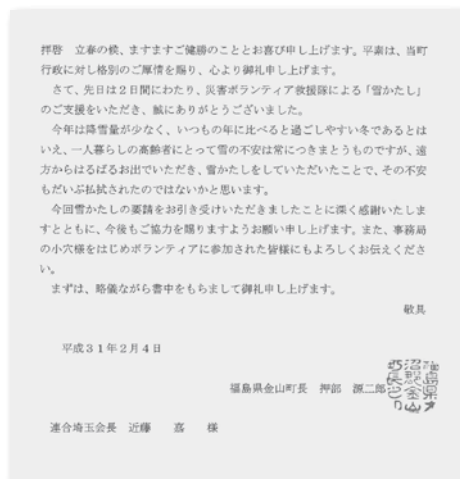
2月2日(土)～3日(日)の2日間の日程で、災害ボランティア救援隊の隊員ら15名参加のもと、福島県金山町にて「雪かたし」ボランティアを実施した。

12月25日、金山町より連合埼玉へ「雪かたし」の要請があった。金山町では、年末年始こそ例年の半分程度の降雪量ではあるものの、1月中旬以降にかなりの降雪が予想され、高齢者宅の除雪は深刻な問題となっていることから、1月8日開催の第3回執行委員会、災害ボランティア救援隊の派遣を決定した。

現地では、1日目・2日目ともに、2グループに分かれ、計5軒の除雪作業をおこなった。どの民家でも屋根からの落雪により、壁際は2～3m(1階の屋根に届くほど)の積雪になっており、排出した雪の処理場所がないような難しい現場もあった。また、折からの寒波の影響により、初日は降雪の中での作業となったが、誰一人ケガすることなく無事に2日間の作業を終えることができ、除雪した家の方にも窓から光が入るようになって「一足早く春が来た」と大変喜んでいただけた。

作業中の差し入れや、宿泊先での農家民宿では金山町の皆さんより温かいご対応をいただき、また、後日には金山町の町長より感謝の手紙もいただいた。

ボランティアに参加した隊員の皆様、ならびに送り出していただいた構成組織に対し御礼を申し上げますとともに、今後の活動へのご協力をお願いします。



金山町長よりお手紙をいただきました



男女平等参画社会を実現しよう!

～3.8国際女性デーとは～



3月8日は、「国際女性の日」です。1857年ニューヨークの工場で起こった火災事故で多くの女性が亡くなったことを受け、3月8日に低賃金や長時間労働に抗議する集会が開かれたことが始まりとされています。1975年国連総会決議によって定められ、賃金・労働条件の向上を表す「パン」と、女性の尊厳、人権の確保を表す「バラ」をシンボルに、今も世界各国で様々な行動が展開されています。

連合は、すべての人の人権が尊重され、男女が平等・対等に働くことのできる、男女平等参画社会を実現し、「働くことを軸とする安心社会」をめざし、全国で活動を展開しています。



連合埼玉春季生活闘争2次行動および3.8国際女性デーアピール街宣行動

2019年3月5日(火) 18:00～ 大宮駅東口

・パン(ラスク)の配布、アピール

2019年度連合埼玉年間研修計画

2月5日(火)開催の第3回執行委員会にて、今年度の研修計画が確認されました。下記の研修は、組合員・組合役員の知識・スキル向上を目的としており、組合役員教育プログラムをはじめとする、あらゆる活動に直結する内容を予定しています。ふるっての参加をお待ちしています。

日時		研修名	日時		研修名
5月	11日(土)	災害ボランティア研修初級	8月	4日(日)～6日(火)	平和行動in広島
	15日(水)	組合役員教育プログラム⑨		8日(木)～10日(土)	平和行動in長崎
	16日(木)	オルガナイザー研修会(養成)		24日(土)	組合役員教育プログラム⑮
	18日(土)	組合役員教育プログラム⑩		28日(水)	組合役員教育プログラム⑯
	20日(月)	政策フォーラム		31日(土)	組合役員教育プログラム⑰
	22日(水)	オルガナイザー研修会(実践)		31日(土)～9月1日(日)	青年委員会 ユースラリー
	22日(水)	組合役員教育プログラム⑪		未定	男女平等参画「トップセミナー」
	25日(土)	組合役員教育プログラム⑫	9月	4日(水)	組合役員教育プログラム⑱
	25日(土)	災害ボランティア研修中級(ARCS主催)		6日(金)～8日(日)	平和行動in根室
	29日(水)	組合役員教育プログラム⑬		11日(水)	組合役員教育プログラム⑲
6月	未定	第1回メンタルヘルスセミナー(応用編)		14日(土)	組合役員教育プログラム⑳
	1日(土)	組合役員教育プログラム⑭		未定	第1回メンタルヘルスセミナー(基礎編)
	8日(土)	平和集会		未定	女性のためのステップアップセミナー(中級編)
	11日(火)	女性のためのステップアップセミナー(初級編)	11月	2日(日)～5日(火)	青年委員会 環境文化体験学習in屋久島
	23日(日)～25日(火)	平和行動in沖縄			

現在予定される3月の日程表です

3月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	金		退職者連合「男女平等参画推進のための学習会」(13:30～・連合会館)
2日	土		
3日	日		
4日	月		
5日	火	①第4回四役・執行委員会(10:00～・13:00～・ときわ会館) ②メーデー実行委員会(15:30～・ときわ会館) ③春闘2次行動ミニマム賃金・交渉状況アピール/3.8国際女性デーアピール(18:00～・19:00～・大宮駅東口)	
6日	水		埼玉労働局「平成30年度第2回労働審議会」(14:00～・プリランテ武蔵野)
7日	木		
8日	金	春闘街宣行動(南部)	
9日	土		「消費問題シンポジウムinさいたま」(後援:埼玉シニア連合)(13:30～・浦和コミュニティセンター)
10日	日		
11日	月		
12日	火	春闘街宣行動(北西部)	
13日	水	埼玉シニア連合「第8回ウォーキング」(桶川市)	国公総連埼玉「2019春闘学習会」(18:30～20:00・WithYouさいたま)
14日	木	春闘街宣行動(西部)	連合関東ブロック連絡会「全労済関東統括本部との連絡会議」(14:30～・ホテルラングウッド)
15日	金	春闘街宣行動(東部)	
16日	土		
17日	日		
18日	月	①春闘街宣行動(北東部) ②青年委員会「第4回幹事会」(18:00～・あけぼのビル) ③第4回官公労部門連絡会(18:30～・連合埼玉会議室)	
19日	火	①ネット21「第7回運営委員会」(9:30～・連合埼玉会議室) ②女性委員会「第3回幹事会」(18:30～・連合埼玉会議室)	
20日	水	春闘4次行動中小・地場組合解決促進・交渉状況アピール(18:00～19:00・川越駅東口)	
21日	木		
22日	金	春闘4次行動中小・地場組合解決促進・交渉状況アピール(18:00～19:00・南越谷駅南口)	
23日	土		
24日	日		
25日	月	春闘4次行動中小・地場組合解決促進・交渉状況アピール(18:00～19:00・熊谷駅北口)	埼玉県地域人材育成協議会(10:00～・埼玉会館)
26日	火	①第2回組織委員会(10:00～・連合埼玉会議室) ②春闘4次行動中小・地場組合解決促進・交渉状況アピール(18:00～19:00・川口駅東口)	
27日	水		①連合関東ブロック連絡会「第2回幹事会」(11:00～・連合会館) ②連合「第9回地方連合会事務局長会議」(13:30～・連合会館) ③退職者連合「年金改革に関する3.27学習会」(13:30～・連合会館) ④北埼玉地域協議会「第2回幹事会」(18:30～・羽生市民プラザ)
28日	木		①埼玉労協協議会(10:00～・ときわ会館) ②ときわ会館理事会(13:00～・ときわ会館)
29日	金		第19回統一地方選挙告示日(埼玉県・さいたま市)
30日	土		
31日	日		

Akebono Building

あけぼのビル

事務局長

佐藤 道明

◆「女性ゼロ議会なお2割」朝日新聞アンケート

先日、朝日新聞の朝刊に「女性ゼロ議会なお2割」という記事が載っていた。3月下旬から始まる統一地方選挙を前に、朝日新聞社は昨年12月から全国の都道府県と市区町村の計1788議会を対象にアンケートを送付。1月1日時点の定数や、4年間の活動状況などについて尋ね、全議会から回答を得た。アンケート結果は次のとおりである。

女性議員がいない「女性ゼロ議会」は339議会にのぼり、8年前の調査で412議会、4年前は379議会で徐々に減っているが、依然として2割近くの議会で女性議員がいない。女性議員が1人しかいない議会も460議会あり、女性議員が1人以下の議会が全体の45%を占めている。

女性ゼロ議会の半数近くの153議会は、今春の統一地方選挙で改選される予定。議会選挙で男女の候補者数をできる限り「均等」にするよう政党に求める「候補者男女均等法」が昨年施行されており、こうした環境変化の後押しを受けて女性ゼロがどの程度解消されるかが注目される。

調査の結果、地方議員計3万2483人のうち、女性議員は4278人で、全体の13.2%（前回11.7%）。都道府県別にみると、女性が少ない議会の割合は、青森県が46%と最も高く、奈良、熊本、福島、沖縄、山梨、鹿児島、群馬の各県でも3割を超えた。

市区町村別でみると、女性議員がいない村議会は55%。定数20以上の市議会でも福岡県飯塚市（定数28）、宮城県栗原市（同26）、熊本県天草市（同26）など12議会で女性議員がいない。なお、埼玉県の市町村議会において「女性ゼロ議会」は羽生市議会（定数14）だけである。

◆女性比率10.8%の埼玉県議会

埼玉県議会の状況をホームページで確認した。埼玉県議会は52選挙区、定数93（現在欠員10名）である。政党・会派別の女性議員数は、自民党が51名中2名、立憲・国民・無所属の会が9名中4名、共産党が5名中3名、他の政党・会派には女性議員はゼロであり、埼玉県議会は83名中9名と女性議員の割合は10.8%となっている。

2月初旬におこなわれた「埼玉県議会議員一般選挙立候補予定者説明会」の出席者は本人および代

理を含め129陣営が参加している。説明会参加者に限定されるが、立候補予定者129名に対し女性は24名（18.6%）となっている。政党別の女性立候補予定者数は、自民党3名、立憲民主党3名、国民民主党1名、共産党10名、無所属7名である。新人は自民党1名、立憲民主党1名、共産党7名、無所属6名である。

女性候補者を増やすよう促す「候補者男女均等法」ができて初めて迎える統一地方選挙であるが、政党とすれば現職優先であり、各政党のおかれている現状も理解できないわけではない。加えて、52選挙区中27選挙区が定数1であることなど、なかなか女性候補を擁立するには難しい環境にあるのも事実である。

しかし、意欲と能力のある人材は地域に必ずいる。さまざまな視点や経歴を持つ候補者が増えれば、投票する選択肢が広がるはずであり残念でならない。

◆連合埼玉推薦状況、女性比率は32.2%

今春の統一地方選挙における連合埼玉推薦候補者は、第2回執行委員会（2月5日開催）での確認ではほぼ出尽くした（まだ若干名いるかもしれないが）。県議会19名（内、女性5名）、さいたま市議会15名（内、女性5名）、一般市・町議会25名（内、女性9名）であり、推薦候補者は合計で59名となり女性は19名、女性候補の比率は32.2%である。過去2回の統一地方選挙における連合埼玉推薦状況は次のとおりである。8年前（2011年）は推薦候補者93名中女性16名（17.2%）、4年前（2015年）は推薦候補者56名中女性14名（25.0%）、であった。比率でみれば増えているものの人数でみると大きく増えたとの実感はない。

統一地方選挙の推薦行為の手続きとして、新人候補者との面談をおこなったが、多くの女性候補者が男女平等や女性活躍、育児・介護など、今までの経験から疑問を持ち、自らの政策と行動で改善をはかるために出馬を決断している。決して簡単な決断ではなかったはずであり、背中を押したのは、それぞれの日常からわき上がった切実な思いであり、同じ境遇におかれている女性の声であったのだろう。

いよいよ、春の闘いが本番を迎える。19名の女性候補の健闘を祈るとともに、59名全員の勝利をめざし、ともに戦おう。

2019.2.21